

# 第6次アイシン連結 環境取組プラン

環境軸	エボリューション	No.	取組項目	実施事項・目標												
低炭素社会の構築	製品の製造から使用、廃棄までのライフサイクルCO <sub>2</sub> 「ゼロ」	1	CO <sub>2</sub> 大幅削減への新機能製品の開発推進と拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クリーンエネルギー車(PHV、FC)向け部品の開発</li> <li>●高性能パワートレイン、軽量化での低燃費化技術の開発</li> <li>●次世代エネルギーシステム商品(燃料電池、バイオ燃料利用)の開発</li> <li>●各事業特性に応じた環境配慮製品(建築物、家庭用品など)の開発と拡大</li> </ul>												
		2	環境負荷の見える化の推進	●製品の製造から使用、廃棄までのライフサイクル視点で環境性能を評価するLCA(ライフサイクルアセスメント)の全製品実施とグループ展開の推進												
		3	生産活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量の低減 【海外】 CO <sub>2</sub> 低減推進体制の国内と同一水準化 【国内】 現行の低減推進体制の高い水準の維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常改善活動と省エネ技術導入による低減の推進 ・排熱回収、漏れ防止に着眼したロス改善の徹底</li> <li>●国内省エネ事例、技術のグローバル展開</li> <li>●エネルギーマネジメント手法の共有化による削減</li> <li>●歩留まり改善による投入材の削減でのCO<sub>2</sub>削減</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産CO<sub>2</sub></td> <td>グローバル (国内外連結合算)</td> <td>売上高当り排出量</td> <td>2009年度</td> <td>20%減</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	生産CO <sub>2</sub>	グローバル (国内外連結合算)	売上高当り排出量	2009年度	20%減		
		対象	範囲	項目	基準年	目標										
		生産CO <sub>2</sub>	グローバル (国内外連結合算)	売上高当り排出量	2009年度	20%減										
4	“アイシンクリーンエネルギー工場”の確立と展開への着手	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モデル工場における省エネ革新技術の導入と再生可能エネルギーの活用</li> <li>●クリーンエネルギー工場のグローバル展開ロードマップの作成完了</li> <li>●既存工場への再生可能エネルギー、省エネ技術の積極的な採用</li> </ul>														
5	物流活動における輸送効率の向上 【海外】 拠点的拡大に伴い、CO <sub>2</sub> 低減推進体制レベルを向上  【国内】 事例(改善ノウハウ)の共有化による、継続的な改善活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●共同輸送、積載率向上、より環境負荷の小さい輸送手段への拡大</li> <li>●地域間物流(日本から海外)に伴う温室効果ガス削減アイテムの抽出、実施に向けたロードマップの策定</li> <li>●各国内物流CO<sub>2</sub>の実態把握の促進</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">物流CO<sub>2</sub></td> <td>国内連結</td> <td>売上高当り排出量</td> <td>2009年度</td> <td>11%減</td> </tr> <tr> <td>海外各社</td> <td colspan="3">実績把握</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	物流CO <sub>2</sub>	国内連結	売上高当り排出量	2009年度	11%減	海外各社	実績把握		
対象	範囲	項目	基準年	目標												
物流CO <sub>2</sub>	国内連結	売上高当り排出量	2009年度	11%減												
	海外各社	実績把握														

環境軸	エボリューション	No.	取組項目	実施事項・目標														
循環型社会の構築	環境負荷「ゼロ」	6	開発段階における金属資源の有効利用とリサイクルの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金属資源の使用量低減、再利用率の向上を考慮した設計の推進</li> <li>●従来の取組みにて培ったノウハウに基づく、金属資源における調達制約、枯渇リスクの把握および対応の推進</li> </ul>														
		7	生産物流活動における、資源循環の促進と低減 <b>【生産】</b> グループ内の原料再利用の推進 <b>【物流】</b> 梱包資材の削減 <b>【全体】</b> 事例の共有とグループ内展開の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資源のオールアイシン活用技術の開発、展開</li> <li>・グループ間共同委託による有価化の推進</li> <li>・梱包資材の使用量削減の推進</li> <li>●国内廃棄物削減事例、技術のグローバル展開</li> </ul> <table border="1" data-bbox="668 465 1372 620"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">廃棄物</td> <td>国内連結</td> <td>売上高当り排出量</td> <td>2009年度</td> <td>28%減</td> </tr> <tr> <td>海外各社</td> <td>各社管理原単位</td> <td>2015年度</td> <td>5%減</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	廃棄物	国内連結	売上高当り排出量	2009年度	28%減	海外各社	各社管理原単位	2015年度	5%減
		対象	範囲	項目	基準年	目標												
廃棄物	国内連結	売上高当り排出量	2009年度	28%減														
	海外各社	各社管理原単位	2015年度	5%減														
8	水資源の有効利用とリサイクルの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水の地域ごとの供給安定性と排出安全性評価基準の制定と、評価の実施</li> <li>●地域特性に応じた水削減目標の設定と順守</li> <li>●合理的な水使用量把握体制の確立</li> <li>●水資源の削減や再利用の技術開発と導入(節水生産技術、排水リサイクル技術など)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="668 855 1372 1000"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>制約が多い地域</td> <td colspan="3">2017年度までに水の地域ごとの安定性を把握し、2020年度の数値目標を設定</td> </tr> </tbody> </table>	対象	範囲	項目	基準年	目標	水	制約が多い地域	2017年度までに水の地域ごとの安定性を把握し、2020年度の数値目標を設定								
対象	範囲	項目	基準年	目標														
水	制約が多い地域	2017年度までに水の地域ごとの安定性を把握し、2020年度の数値目標を設定																
自然共生社会の構築	自然との調和	9	製品含有規制物質に関する法規の先取り対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品の優位性を担保する環境法規制の先取り対応を通じた効率的な環境負荷物質の抑制</li> <li>●各国法規の情報共有化とグローバルでの業務推進体制の確立</li> <li>●新興国市場への拡販をねらった環境法規の輸出国規制への積極対応</li> </ul>														
		10	環境異常の未然防止活動の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グローバルな環境異常情報の横展のしくみ構築</li> <li>●環境KYT(※1)のグローバル展開等による環境意識向上活動の推進</li> <li>●AGES(※2)の作成、グローバル展開による改善の推進</li> </ul>														
		11	生産活動における環境負荷物質の低減 <b>【海外】</b> 低減推進体制の国内と同一水準化 <b>【国内】</b> 現行の低減推進体制の高い水準の維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本における低減推進体制のノウハウを海外拠点に普及</li> <li>●法規制や周辺環境の影響を先取りした化学物質削減</li> <li>●VOC削減対策(VOCレス化、使用量削減、排出量低減)技術の開発継続</li> </ul> <table border="1" data-bbox="668 1522 1372 1663"> <thead> <tr> <th></th> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>基準年</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">VOC</td> <td>国内連結</td> <td>売上高当り排出量</td> <td>2009年度</td> <td>19%減</td> </tr> <tr> <td>海外各社</td> <td colspan="3">実績把握</td> </tr> </tbody> </table>		範囲	項目	基準年	目標	VOC	国内連結	売上高当り排出量	2009年度	19%減	海外各社	実績把握		
	範囲	項目	基準年	目標														
VOC	国内連結	売上高当り排出量	2009年度	19%減														
	海外各社	実績把握																
12	生物多様性を保全する地域プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイシングループ生物多様性ガイドラインの制定・発行</li> <li>●アイシングループでの生物多様性活動の継続と活動エリア拡大</li> <li>●地域ごとの絶滅危惧種などの保護・繁殖活動の推進</li> <li>●「アイシンの森」、「工場の森づくり」を通じた生態系保護と地域交流の充実</li> </ul>																

※1. 環境KYT : 環境危険予知トレーニング、環境異常の未然防止を目的とした訓練

※2. AGES : アイシングループ環境基準

環境軸	No.	取組項目	実施事項・目標
全テーマ共通の基盤活動	13	環境コンプライアンス情報の集約体制確立による順法管理強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海外インフラ、法改正情報の共有化体制の構築</li> <li>●コンプライアンス情報の集約体制の構築</li> <li>●地域別順法評価体制の構築、運用</li> </ul>
	14	グローバル連結EMS評価体制の構築と運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域別環境委員会活動の精練化と活性化</li> <li>●地域別体制での標準的なマネジメント体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準化、基準化の推進</li> <li>・環境アセスメントによるレベル向上活動の継続実施</li> <li>・グローバル相互アセスメントの仕組み構築</li> </ul> </li> </ul>
	15	サプライチェーンの環境管理とサプライヤーと連携した環境活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイシングループグリーン調達ガイドラインの改定</li> <li>●ガイドライン対象範囲の拡大</li> <li>●環境点検、情報共有等によるサプライヤーの環境取組レベルアップの支援継続</li> </ul>
	16	グローバル環境人材教育の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ共通の環境業務関連教材の作成や育成プログラムでの教育</li> <li>●グローバルに活躍できる各分野のスペシャリストを養成</li> </ul>
	17	地域社会と協調した環境社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グローバル地域管理体制において事例の共有、展開を図る、地域独自の取組みなどに特化した対外発信</li> <li>●工場等の受け入れ教育での地域青少年への環境理解度の向上</li> </ul>
	18	さまざまなステークホルダーに対応した環境コミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境情報開示の更なる充実</li> <li>●アイシングループレポートやパンフレットの継続発行</li> <li>●アイシングループ環境コミュニケーションガイドラインの制定</li> <li>●地区懇談会等の周辺地域との交流継続</li> <li>●世界環境デー等での国内外全拠点での統一活動の実施、公開</li> </ul>
	19	オフィス環境マネジメントの全世界展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境意識向上活動の推進</li> <li>●本来業務に関わる環境活動の自己宣言と、貢献度の見える化推進</li> <li>●オフィスの省エネ技術のグローバル展開</li> </ul>